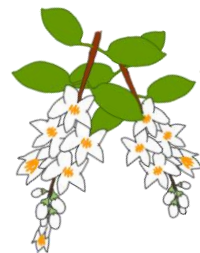


アトリエ 琉游舎 だより 106号

アトリエ琉游舎 ryuyusha.com/
 琉游舎for healing <https://toi101izuru.wixsite.com/mysite-3>

2021年6月2日発行

卵の花くたし



- 5月の半ばから梅雨のような天気が続いていますが、関東地方にはまだ梅雨入り宣言は出ていないようです。梅雨入り前の長雨のことを「卵の花くたし」と呼びます。「くたし」は物を腐らせるという意味。卵の花を腐らせるほどにしとしとと降り続く雨が卵の花くたしです。
- 私はこの項を書くまで卵の花は「おから」のことだと信じて疑いませんでした。気温も湿度も高くなるこの時期、作り置きしていたおからも腐りやすくなります。皆さん、食中毒には注意しましょう。という先人からの言い伝えと勝手に解釈していた全くの思い込みでした。
- 卵の花は「ウツギ(空木)」の別名。落葉低木で5～6月に白色5弁の花が咲き、庭木や生け垣として植栽されています。茎が中空であることからウツギ(空木)と命名されたといわれ、花は卯月(旧暦4月)に咲くことから卵の花とも呼ばれる初夏を彩る風物詩の花です。
- 「夏は来ぬ」という唱歌があります。♪卵の花の 匂う垣根に ほととぎす 早も来鳴きてしのびね(忍び音) もらす 夏は来ぬ♪ 思い込みとは怖いもので、私はこの歌を「家路を急ぐ子供がある家の垣根の向こうから香るおからを炊く匂いと、それに誘われた時鳥の初音に夏が来た」と実感する歌とばかり思っていました。子供の頃に思い込んだ意味を誤解のまま大人になり、今でもそのままの言葉がたくさんあるかもしれません。「夏は来ぬ」に関して言えば「花より団子」派の私にはそれはそれで筋の通った誤解と言えるかもしれませんが。
- 今年は5月の連休明けから卵の花くたしのような五月雨が降り続き、このまま五月晴れもないままに梅雨の季節に突入してしまうのでしょうか。と書きましたが、旧暦の五月の季節感の言葉を新暦の五月で使うと誤用になってしまいます。旧暦の5月は新暦の6月です。「五月雨」は「梅雨」、「五月晴れ」は「梅雨の晴れ間」のことですので、五月雨も五月晴れもこれからたっぷり味わえます。五月雨を鬱陶しいと嘆かず、五月晴れを一服の清涼剤と愛で、ありのままの自然の移ろいと伴に歩みたいと願う琉游舎で、皆様をお待ちしています。

写経会

6月6(日)
13時半から

詩話会

6月12日(土)
13時半から

居酒屋の会

6月25(金)
16時半から

映画会

毎週木曜日 6月17日の映画
13時半から 会はお休みです

読書会

6月8.22日 日蓮の「立正安国論」と
火曜13時半 消息文を読みます。テキ
ストもすべてご用意。

6/10 木	13時半	結婚協奏曲 (85分)	6組の夫婦の結婚は無効だった？新米判事が手続きを誤っていたことから、彼らは法律上独身ということが明らかに。モンローの魅力満載のラブコメディ。
6/17 木		映画会お休み	
6/24 木	13時半	ミモザ館(105分)	ジャック・フェデー監督。南仏で安宿ミモザ館を夫と営むルイズ、彼女は身寄りのいないピエールを育てていたが、ある日実の父が現れ引き取ってしまう、、、
7/1 木	13時半	幻の女(87分)	妻と口論になり家を飛び出したスコットは変った帽子の女とバーで知り合いショーを見物する。家に帰ると妻は殺されていた。証人として帽子の女を探し出そうとするが、、、
7/8 木	13時半	パンと恋と夢(87分)	ヴィットリオ・デシーカ、ジーナ・ロロブリジータ主演。山の上の小さな村に赴任してきた軍警察の署長は村のマリアという娘に惹かれるが、助産婦のアンナレッタも気になるが。

去年はうまくできたからといって、今年も同じようにうまくいくとは限らないのが野菜作りです。昨年は豊作だったタマネギは、未だに土の中でピンポン球以下の大きさです。何が悪かったのか、前回と同じところで苗を買い同じ時期に植え同じように養生したのですが、冬を越しても一向に大きくなる兆候も見せず今に至っています。一方キャベツはしっかり冬を越し、甘くみずみずしい重量感のあるものが収穫できました。3度目にして初めて毎日食べたくなるキャベツです。春野菜はそろそろ夏野菜のために場所を明け渡さなければなりません、盛りを過ぎてはまだ花を咲かせるエンドウに早く場所を譲れとも言えません。ただ見た目は柔らかくさうでも食べると筋だらけのものが混じるようになりました。種の保存のための防御本能が働くのでしょうか。老いてもまだ盛んなエンドウに引導を渡すタイミングは難しいものです。タマネギはよその畑と比べようもないくらい未熟児のままなので、さっさと見切りを付けるべきなのですが、昨年の大豊作の記憶が消えず、こんなはずはないいつかは成長するはず、とこのままずるずると時を過ごしそうでなりません。

やめれば楽になるのに失うものを考えるとやめられない。このまま我慢し続ければ事態は好転するはず。私たちの毎日はこのようにやめるにやめられないことばかりです。今まで費やした時間と労力に執着し、自己を恃むばかりで、今の有り様をありのままに観ることができないからです。忍耐と精進を持ってやり続けることは称賛されることであり彼岸への道です。しかしもし忍耐と精進の道に苦しみや迷いを感じたならそれは慢心と執着の道かも知れないのです。我慢、慢心、驕慢、高慢、暴慢、自慢、怠慢、増上慢と「慢」の付く言葉を並べていくとよい評価に使われる言葉ではないようです。一人「我慢」だけが「自己主張を抑えて辛抱する」という意味でよい評価を与えられた言葉のようですが、この我慢も長い歴史の中でいつの間にか意味が逆転してしまった言葉のひとつなのです。「慢」はサンスクリット語の「マーナ」の音を漢字に当てたものです。「マーナ」は仏教が説く煩惱のひとつで、自己を高みに置いて他者を軽視する自己中心的な思い上がりの心を意味します。ですから我慢は「私の思い上がりの心」のこと、つまり慢心のことです。慢心と執着は煩惱です。煩惱は私たちに「苦」をもたらします。日々自分が精進し忍耐しているつもり行為に苦しみと迷いを感じたならば、それは我慢と執着です。さっさと捨て去りやめるべきことなのです。

忍耐と精進は安らぎの処（彼岸）へ至るための六つの実践徳目、六波羅蜜のひとつで、その他に布施・持戒・禅定・智慧があります。持てるものを持たざるものに与え、規範を守り、堪え忍び、努力し、心を安らかに保ち、ありのままに観る智慧を身につけたならば私たちは安らぎの処（彼岸・涅槃・悟りの世界）へ辿り着くことができるというお釈迦様の教えです。これは日々の生活の中で実践可能ですが容易ではない徳目です。布施は貪欲、持戒は破戒、忍耐は我慢、精進は執着、禅定は瞋恚、智慧は愚痴^{注1}にいつでも変わることができます。私たちはこれらの間を行ったり来たりする日々を生活しているのです。人に欲があり、怒りがあり、我慢がある限りこの行ったり来たりの往来を止めることはできません。お釈迦様はこの往来を無くし安らぎの処へ進む方法を様々な言葉で示してくださいました。すべての教えはそこに集約されると言ってもよいでしょう。無作為に拾ってみると例えば「怒りを捨てよ。慢心を除き去れ。いかなる束縛をも超越せよ。名称と形態とにこだわらず、無一物となった者は、苦悩に追われることがない。」^{注2}「無一物」とならない限り、つまり何も所有しない者にならない限り煩惱を捨てて苦悩から解放されることはないと言っています。「何も所有しない」はいのちも所有しないということです。しかしそれは肉体的な死と同一ではありません。人は死ななければ涅槃（安らぎの処）に行くことはできない、死ねば浄土にいけるという考えはお釈迦様の教えを曲解した考えです。「無一物」になることは私が私のいのちや財産や家族や実績や名誉や、何もかもを私が所有し私が行った結果だとする考えを捨て去ることです。そして私が所有していたと慢心し執着していたすべてのものが大いなるいのちのはからいによってここにあると観ることです。それがありのままに観ること、他力のはからいのままに在ること、即身成仏することです。それはお釈迦様の弟子たちがそれぞれの信行の中で獲得してきた「無一物」になるための行いなのです。そして「大いなるいのち」を久遠実成の釈迦牟尼仏や阿弥陀如来や大日如来などと呼ぶことで、具体的な信行のより所としてきたのです。

私たちの日々の生活で「無一物」となることは、教えとして理解できても実践することは不可能に思われます。貪（欲望）瞋（怒り）痴（無智）の煩惱を消滅させることは不可能だからです。しかし私はその自覚があればこそ安らぎの処へ歩む行い（無一物になる）が可能だと考えます。布施と貪欲、持戒と破戒、忍耐と我慢、精進と執着、禅定と瞋恚、智慧と愚痴、この往来の日々を生き続け、それが苦しみや迷いでないと知ったとき、それはありのままの毎日を生きることとなります。つまり「無一物」への道を歩むこととなるのです。煩惱は悟り（菩提）の縁であり、ありのままの状態です。煩惱と菩提は一体一如、「煩惱即菩提」なのです。

やめるにやめられないことと言えば、オリンピックはもう損切りのタイミングを完全に逸してしまったようです。これからは利益でなく損失だけが増え続けることでしょう。かく言う私も退職後の生活資金のためにと社内持ち株会で細々と買いためていた株が、現在購入金額の半分となり売りに売れない塩漬け状態です。いつ損切りするか、大仰に言えば、その先にあるのは「無一文」か「無一物」

琉游舎：戸井 出琉・恭子
お問い合わせ先：0287-53-7848 08033508152
矢板市大槻2319-17コリーナ矢板C-850
メール：toi10lizuru@outlook.jp